

5-7 手術集中治療部

【原著論文】

1. Sokol J, Shimizu N, Bohn D, et al:
Fetal pulmonary artery diameter measurements as a predictor of morbidity in antenatally diagnosed congenital diaphragmatic hernia: A prospective study. American Journal of Obstetrics & Gynaecology 2006; 195: 470-477.
2. Hayashi H, Sago H, Hayashi R, Nakagawa S, et al.
Manifestation of mirror syndrome after fenoscopic laser photocoagulation in severe twin-twin transfusion syndrome. Fetal Diag Ther 2006;21:51-54.
3. 小原崇一郎、清水直樹、砂川玄志郎、佐々木隆司、上村克徳、本間靖啓、中川聡、鈴木康之、阪井裕一、宮坂勝之：
小児救急医療体制における緊急搬送システムの重要性について 日本小児科学会雑誌 110(9):2006;1274-1284.
4. 清水直樹：
“Iatrogenic encephalopathy” vs. “Pathogenic encephalopathy”.
日本集中治療医学会雑誌 2006; 13: 405-407.
5. 西崎彰、清水直樹：
日本小児科学会の「病院小児科医の将来需要について」に対する私見。
日本小児科学会雑誌 2006; 110: 691-695.
6. 田中圭一朗、北野良博、森川信行、瀧本康史、寺脇 幹、川島憲子、町頭成郎、中川聡：横隔膜ヘルニアに合併する胃食道逆流、急性期の栄養管理について。日小外会誌 2006;42:188-192.
7. 中山雅弘、中川 聡、青木康博：
乳幼児突然死症候群（SIDS）診断の手引き、改訂第 2 版。日本 SIDS 学会雑誌 2006; 6:73-97.

【総説】

1. 鈴木康之、緒方健一：
小児神経筋疾患の在宅人工呼吸器療法 脳と発達 2006; 38: 132-134.
2. 鈴木康之：
患者搬送時の注意点 小児看護 2006; 29: 866-872.
3. 鈴木康之：
小児の在宅人工呼吸管理 難病と在宅ケア 2007; 12: 7-10.
4. 中川 聡：
小児の人工呼吸からのウィーニング。ICU と CCU 2006; 30:11-15.

5. 中川 聡：
ハイリスク因子から見た予防法（乳幼児突然死症候群、その歴史と現状）．母子保健情報 2006； 53： 75-78.
6. 中川 聡：
小児の人工呼吸管理．臨床麻酔 2006； 30:1427-1432.
7. 清水直樹：
新しい小児救急のシステム．（診療アップデート）日経メディカル、2006； 464： 155-158.
8. 清水直樹、宮坂勝之：
2005 年版 PALS について．（危急的状況における小児への対応：関連論稿）
小児看護、2006； 29： 894-903.
9. 清水直樹、宮坂勝之：
BLS・PALS ー小児蘇生と小児外傷における役割ー．
小児科診療、2006； 69： 647-653.
10. 近藤陽一、阪井裕一：
ラテックスフリー手術室の実現を目指して アレルギーの臨床
2006;26(13):1025-1028.

[症例報告]

1. 田村高子、高野牧子、鈴木康之、阿部世紀、阪井裕一、中川聡、宮坂勝之：軽微な風邪
症状と評価され全身麻酔管理に難渋した一例． 日本小児麻酔学会雑誌 2006；
12:132-136.

[著書]

1. 阪井裕一：
麻酔科研修の素朴な疑問に答えます 74. 予防接種後の麻酔はいつからか？ 75. なぜ
小児では座薬を使うのか？ P211-214 メディカル・サイエンス・インターナショナル
2006 年 5 月
2. 清水直樹、宮坂勝之：
P-CTAS：カナダ小児救急トリアージ・緊急度評価スケールを学ぶ
小児救急医療でのトリアージ、克誠堂出版、2006
3. 清水直樹、西崎彰、六車崇、黒澤茶茶、新田雅彦、太田邦男、中澤誠、宮坂勝之：
小児の一次救命処置、小児の二次救命処置（監訳）
AHA 心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン 2005、BIOMEDIS、2006
4. 清水直樹、上村克徳、太田邦男、桜井淑男：
小児の一次救命処置、小児の二次救命処置 救急蘇生法の指針（医療従事者向け）、

へるす出版、2006

5. 清水直樹:小児の蘇生 救急蘇生法の指針 (市民向け)、へるす出版、2006
6. 清水直樹:ショック.今日の小児治療指針、pp 11-13、医学書院、2006
7. 清水直樹:夢から醒めたら ~小児集中治療医学を取り囲む日本社会~
小児医療にみる米国留学へのパスポート、日米医学医療交流財団、pp 65-761、はる書房、2006
8. 中川 聡:
喘息重積発作、斎藤博之監修、勝沼俊雄編. 喘息 (小児アレルギーシリーズ). 東京.
診断と治療社. 2006; 85.
9. 中川 聡:
喘息患者の人工呼吸管理. 斎藤博之監修、勝沼俊雄編. 喘息 (小児アレルギーシリーズ). 東京. 診断と治療社. 2006; 86-87.

[報告書、その他]

1. Shimizu N:
ILCOR PALS Subcommittee / Taskforce
2005 International Consensus on CPR and ECC Science and Treatment
Recommendations.
Pediatrics 2006; 117: e955-977.
2. 清水直樹
「わが国の新しい救急蘇生ガイドライン (骨子)」, 2006 (2007 改訂)
日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会、財団法人日本救急医療財団
小児を対象とする ALS 主に日常的に蘇生を行うもののための BLS (小児・乳児)
http://www.qqzaidan.or.jp/qqsousei/guideline/ALS_ch.pdf
http://www.qqzaidan.or.jp/qqsousei/guideline/BLS_ch.pdf
3. 清水直樹
「心肺蘇生と緊急心血管治療のための科学と治療の推奨に関わる国際コンセンサス
2005」, 2006 (2007 改訂) 日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会、財団法人日
本救急医療財団
小児の一次ならびに二次救命処置 関連エビデンスシート (監訳 PALS-QI)
小児の一次ならびに二次救命処置 CoSTR 本文 (監訳 JSPICC)
<http://www.qqzaidan.or.jp/qqsousei/progress/progress.cgi>
http://www.qqzaidan.or.jp/qqsousei/CoSTR/CoSTR_Part-6.pdf
4. 青山和由
「麻酔科研修の素朴な疑問に答えます」 Lisa,2006,6 vol.13 no.9 836-7.
5. 青山和由

「麻酔科研修の素朴な疑問に答えます」 医学界新聞(研修医版)第 2702 号 2006;10.9.

6. 阪井裕一：

麻酔科医の可能性． 巻頭言 臨床麻酔 Vol.31(1):3, 2007

【学会発表】

1. Kazuyoshi Aoyama, Satoshi Nakagawa, Yasuyuki Suzuki, Hirokazu Sakai：
Perioperative Management of Living-Donor Liver Transplantation in Two Pediatric Patients with Methylmalonic Acidemia
12th Asian Australasian Congress of Anaesthesiologists Nov. 6, 2006, Singapore
2. Soichiro Obara, Satoshi Nakagawa, Naoki Shimizu, Hirokazu Sakai：
2006 年 12 月 9 日 2nd Congress of Asian Society for Pediatric Research. The rate and characteristics of patients who failed planned extubation in a pediatric intensive care unit.
3. 椎間優子、清水直樹、太田邦雄、中川聡、阪井裕一、小泉晶、宮坂勝之：
学校における予防・蘇生教育の可能性と小児科医の役割について． 第 109 回日本小児科学会 2006 年 4 月 21 日 金沢市
4. 間田千晶、清水直樹、木暮紀子、実方由佳、中川聡、阪井裕一、奥山真紀子、宮坂勝之：
小児重症頭蓋内病変における虐待の関与—小児外傷をめぐる小児救急医療体制の問題— 第 109 回日本小児科学会 2006 年 4 月 23 日 金沢市
5. 池山貴也、小原宗一郎、佐々木隆司、本間靖啓、近藤陽一、阪井裕一、宮坂勝之：
当院救急外来における疼痛管理． 第 109 回日本小児科学会学術集会 2006 年 4 月 23 日 金沢市
6. 黒澤茶茶、三好麻里、上谷良行、上村克徳、清水直樹、宮坂勝之：
PALS (Pediatric Advanced Life Support) の普及に向けて 第 109 回日本小児科学会学術集会 2006 年 4 月 23 日 金沢市
7. 黒澤寛史、有吉 孝一、佐藤慎一、村田祐子、小池 薫、清水直樹、中川 聡、宮坂勝之：
PALS (Pediatric Advanced Life Support) 東北トレーニングサイト活動報告 第 109 回日本小児科学会学術集会 2006 年 4 月 23 日 金沢市
8. 中川 聡、小原崇一郎、齋藤 修、清水直樹、宮坂 勝之：
高頻度振動換気法 (high frequency oscillation;HFO) を用いた肺保護戦略 第 28 回日本呼吸療法医学会学術集会 2006 年 5 月 12 日 - 13 日 高知県
9. 小原崇一郎、中川 聡、齋藤 修、清水直樹、鈴木康之、宮坂 勝之：
小児 ICU の再挿管率と再挿管を必要とする患者の特徴 第 28 回日本呼吸療法医学会学術集会 2006 年 5 月 12 日 - 13 日 高知県

10. 清水伸泰、中川 聡、池山貴也、金澤伴幸、齋藤 修、清水直樹、宮坂勝之：
Extracorporeal membrane oxygenation(ECMO)にて救命し得た near fatal asthma の一女兒例 第 28 回日本呼吸療法医学会学術集会 2006 年 5 月 12 日 - 13 日 高知県
11. 竹安晶子、中川 聡、齋藤 修、清水直樹、宮坂勝之：
ECMO 後に 47 日間におよぶ長期 HF0 管理を行い救命しえた小児 ARDS 症例
第 28 回日本呼吸療法医学会学術集会 2006 年 5 月 12 日 - 13 日 高知県
12. 青山和由、金澤伴幸、松田伸一、阪井裕一、近藤陽一、宮坂勝之：
LMA を用いて麻酔管理を行った小児心臓カテーテル検査 110 例の検討．第 53 回日本麻酔科学会学術集会 2006 年 6 月 1 日 神戸市
13. 金澤伴幸、青山和由、田中 基、近藤陽一、鈴木康之、宮坂勝之：
SMA 合併妊娠の帝王切開の麻酔経験 第 53 回日本麻酔科学会学術集会 2006 年 6 月 1 日 神戸市
14. 近藤陽一、椎間優子、松田伸一、鈴木康之、宮坂勝之：
新生児 Galen 静脈奇形に対する脳神経血管内治療の麻酔経験 第 53 回日本麻酔科学会学術集会 2006 年 6 月 1 日 神戸市
15. 下山 哲、近藤陽一、鈴木康之、清水直樹、宮坂勝之：
メチルマロン酸血症患者に対する生体肝移植の麻酔・周術期管理 第 53 回日本麻酔科学会学術集会 2006 年 6 月 1 日 神戸市
16. 清水直樹、上村克徳、中川 聡、鈴木康之、阪井裕一、宮坂勝之：
小児蘇生教育の品質管理と将来像．第 53 回日本麻酔科学会学術集会 2006 年 6 月 1 日 神戸市
17. 鴨志田久子、中川 聡、齋藤 修、清水 直樹、宮坂 勝之：
危篤な転帰をとった respiratory syncytial virus(RSV)脳症の 3 例 第 20 回日本小児救急医学会 2006 年 6 月 16 日 つくば市
18. 藤田真智子、中川 聡、小原崇一郎、金澤伴幸、齋藤 修、清水直樹、宮坂勝之：
Rspiratory syncytial virus による bronchiolitis/pneumonia で人工呼吸管理を要した症例 第 20 回日本小児救急医学会 2006 年 6 月 16 日 つくば市
19. 関谷恭介、島田隆史、石井徹二、高山ジョニー郎、上村克徳、阪井裕一：
敗血症初期評価 —3 例を通じての考察—．第 20 回日本小児救急医学会 2006 年 6 月 16 日 つくば市
20. 山本貴和子、曳野圭子、北里エリカ、前川貴伸、堀越裕歩、道端伸明、宮澤佳子、上村克徳、阪井裕一：
ラオス人民民主共和国における小児救急医療の組織化に関する研究．第 20 回日本小児救急医学会 2006 年 6 月 17 日 つくば市
21. 鈴木康之：
小児の鎮静法—患者の安全と快適性のために—．(教育講演) 第 20 回日本小児救急医

学会， 2006 年 6 月 17 日 つくば市

22. 曳野圭子、堀越裕歩、高山ジョーニ一郎、上村克徳、阪井裕一：
ラオス人民民主共和国における小児のヘルメット着用率の調査． 第 20 回日本小児救急医学会 2006 年 6 月 17 日 つくば市
23. 問田千晶、近藤陽一、阿部世紀、伊東祐之、鈴木康之、阪井裕一：
未熟児網膜症に対する早期硝子体手術の麻酔経験． 第 12 回日本小児麻酔学会 2006 年 9 月 8 日 徳島県
24. 清水伸泰、近藤陽一、阿部世紀、中川聡、鈴木康之、阪井裕一：
上気道閉塞を起こした頭蓋底脳瘤の 2 例． 第 12 回日本小児麻酔学会 2006 年 9 月 8 日 徳島県
25. 伊東祐之、阿部世紀、鈴木康之、近藤陽一、阪井裕一、宮坂勝之：
再発性横隔膜ヘルニアの麻酔管理． 第 12 回日本小児麻酔学会 2006 年 9 月 8 日 徳島県
26. 青山和由、阿部世紀、中川聡、鈴木康之、近藤陽一、阪井裕一：
生体肝移植を行ったメチルマロン酸血症患者 2 例の周術期管理について． 第 12 回日本小児麻酔学会 2006 年 9 月 8 日 徳島県
27. 阿部世紀、池山貴也、伊東祐之、鈴木康之、近藤陽一、阪井裕一：
Cornelia de Lange 症候群に対する Nissen 手術の麻酔経験． 第 12 回日本小児麻酔学会 2006 年 9 月 8 日 徳島県
28. 唐木千晶、池山貴也、阿部世紀、伊東祐之、近藤陽一、鈴木康之、阪井裕一：
糖原病 1 b に対する生体肝移植の麻酔経験． 第 12 回日本小児麻酔学会 2006 年 9 月 8 日 徳島県
29. 中川 聡：
Guidelines 2005 と Pediatric Advanced Life Support(教育講演) 第 12 回日本小児麻酔学会 2006 年 9 月 9 日 徳島県
30. 青山和由、金澤伴幸、佐々木隆司、齊藤修、清水直樹、中川聡、阪井裕一、亀井宏一：
乳児に対する持続的血液濾過透析の技術的問題点． 第 34 回日本救急医学会 2006 年 10 月 31 日 福岡県
31. 小原崇一郎：
高頻度換気法 high-frequency oscillation による急性呼吸窮迫症候群 acute respiratory distress syndrome の管理シンポジウム 第 34 回日本救急医学会 2006 年 10 月 31 日 福岡県
32. 清水直樹：
小児救急における小児集中治療 小児救急医療を新しく定義するー「小児科」ではない、「小児医療」の枠組からの出発(教育講演) 第 34 回日本救急医学会総会・学術集会 2006 年 10 月 29 日 - 11 月 1 日 福岡県

33. 唐木千晶、清水直樹、阪井裕一：
当院における重症小児のヘリコプター搬送症例の検討 第34回日本救急医学会総会・
学術集会 2006年10月29日-11月1日 福岡県
34. 野崎英夫、齋藤修、清水直樹、中川聡、阪井裕一：
ECMO管理を行った小児ARDSの5症例 第20回日本小児人工臓器研究会 2006年11
月17日 香川県
35. 小原崇一郎、中川 聡、椎間優子、佐々木隆司、齋藤 修、清水直樹、阪井裕一：
pressure controlled ventilation (PCV), HF0, ECMO を段階的に用いる ARDS の管理戦
略 第34回日本集中治療医学会学術集集会 2007年3月1日-3日 神戸市
36. 清水直樹、齋藤 修、中川 聡、阪井裕一、松本 務、高山ジョン一郎、生田憲正、
奥山真紀子：
小児集中治療における看取りの医療 第34回日本集中治療医学会学術集集会 2007年
3月1日-3日 神戸市
37. 太田 邦雄、清水直樹、宮坂勝之：
小児への自動体外式除細動器適応をめぐる本邦の課題 第34回日本集中治療医学会学
術集集会 2007年3月1日-3日 神戸市
38. 齋藤 修、中川 聡、小原崇一郎、金澤伴幸、佐々木隆司、齋藤一郎、清水直樹、阪
井裕一：
小児急性循環不全における ECMO からの離脱基準の検討 第34回日本集中治療医学会
学術集集会 2007年3月1日-3日 神戸市
39. 椎間優子、清水直樹、齋藤 修、中川 聡、肥沼 幸、新井勝大、亀井宏一、飯島一
誠
笠原群生、阪井裕一：
小児生体肝移植の周術期管理における小児集中治療の役割 第34回日本集中治療医
学会学術集集会 2007年3月1日-3日 神戸市
40. 齋藤 修、中川 聡、小原崇一郎、金澤伴幸、佐々木隆司、齋藤一郎、清水直樹、阪
井裕一：
小児急性呼吸不全での ECMO 離脱基準としての静的肺コンプライアンスの有用性
第34回日本集中治療医学会学術集集会 2007年3月1日-3日 神戸市
41. 藤田真智子、清水直樹、中川 聡、阪井裕一、岡 明、長澤哲郎、野坂俊介：
小児内科系中枢神経疾患に関する低体温療法の有用性の検討 第34回日本集中治療医
学会学術集集会 2007年3月1日-3日 神戸市
42. 清水直樹、椎間優子、中川 聡、阪井裕一、笠原群生、小林克己、小嶋 純、宮坂勝
之：
Impedance Threshold Device(ITD)は心肺蘇生における胸骨圧迫の効果を増強する

第 34 回日本集中治療医学会学術集集会 2007 年 3 月 1 日－3 日 神戸市

43. 桑原秀次、鈴木康之、近藤陽一、阪井裕一：

当院における小児慢性呼吸不全に対する N P P V の現状．第 9 回東京小児 H O T シンポジウム，2007 年 3 月 10 日 東京都

44. 中川 聡：

小児・周産期医療施設からみた小児集中治療の現況と展望（教育講演）．第 33 回日本集中治療医学会．2006 年 3 月 大阪市

【講演】

1. Nakagawa S.：

Integrated Strategy for Pediatric ARDS Utilizing PCV, HFO and ECMO. 9th International Conference of Anesthesiology, Pain and Intensive Care. Islamabad, Pakistan, November 2006.

2. Nakagawa S.：

Organizing a Pediatric Intensive Care Unit. 9th International Conference of Anesthesiology, Pain and Intensive Care. Islamabad, Pakistan, November 2006.

3. Nakagawa S.：

Pediatric Advanced Life Support Course. 9th International Conference of Anesthesiology, Pain and Intensive Care. Islamabad, Pakistan, November 2006.

4. Nakagawa S.：

Which parameters should be monitored at home to prevent SIDS?. 9th International SIDS Conference. Yokohama, Japan, June 2006.

5. 鈴木康之：

日本における小児在宅人工呼吸療法．東機貿セミナー 小児人工呼吸療法をめぐって，2006 年 6 月 9 日 東京都

6. 阪井裕一

小児救急集中治療看護総論 日本看護協会小児救急看護師養成コース
2006 年 8 月 22 日 東京都

7. 阪井裕一

小児の救急蘇生 独立行政法人国立病院機構中国四国ブロック 小児救急医療研修
2006 年 9 月 7 日 善通寺市

8. 阪井裕一

小児患者の標準治療と最新治療 救急医療財団 医師救急医療業務実地修練
2006 年 9 月 13 日 東京都

9. 鈴木康之：

在宅移行に必要な医療機器の管理と移行の実際－小児在宅人工呼吸－．慢性疾患患

児の在宅療養に向けた支援, 2006 年 10 月 10 日 神戸市

10. 中川 聡:

国立成育医療センターにおける小児 EMC0 の現状 15:15 - 15:45 第 35 回模型人工肺研究会 2006 年 10 月 31 日 横浜市

16. 中川 聡:

敗血症性ショック. 埼玉医科大学総合医療センター. 2006 年 10 月 埼玉県

11. 中川 聡:

PICU のシステム作り、過去・現在・未来. 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター. 2006 年 11 月 沖縄県

12. 中川 聡:

国立成育医療センターでの小児集中治療. 成育医療研修会. 2006 年 11 月 東京都

13. 中川 聡:

小児の人工呼吸、生理学的アプローチ. 成育医療研修会. 2006 年 11 月 東京都

14. 阪井裕一:

小児救急医療の考え方 昭和大学医学部小児科セミナー
2006 年 11 月 14 日 東京都

15. 鈴木康之:

ケースディスカッション こんな症例をどうする「呼吸」. 第 14 回小児集中治療ワークショップ, 2006 年 11 月 26 日 千葉県

16. 阪井裕一:

小児集中治療 ― 欧米の現状、わが国のこれから 小児集中治療公開講座
2007 年 3 月 4 日 東京都

17. 中川 聡:

「症例検討委員会報告」 第 13 回日本 SIDS 学会学術集会 2007 年 3 月 17 日 福岡県

18. 清水直樹: 小児人工呼吸管理の基礎・・・応用のための基本とピットフォールを理解する・・・. 北陸小児救急集中治療研究会 2006

19. 清水直樹: 救急から救命へ・・・トリアージ・・・. 千葉県小児科医会 2006

20. 清水直樹: 小児の救命の連鎖. 愛知県小児科医会 2006

21. 清水直樹: 事故予防. 金沢子ども健康フォーラム 2006